



平成27年度の自然学校の利用スタート!!

平成27年度の自然学校の利用が4月27日（月）からスタートしました。12月4日（金）までの期間で、55グループ76校延べ約27,100人の利用予定です。

利用の第1週（4月27日～5月1日）は、猪名川町立つつじが丘小学校と赤穂市立御崎小学校でした。

猪名川町立つつじが丘小学校では、自然学校と他の教育活動との関連を図る取組として、学校生活の中で活用できるようなTシャツを自然学校で藍染めしました。二つとして同じデザインがない自分だけのTシャツに仕上がりました。子どもたちは、このTシャツを着たときに、きっと南但馬自然学校で過ごした5日間のことを思い出してくれることなのでしょう。自然学校の取組が他の活動に波及していく、広がっていくことは、事後指導の在り方にも繋がっていきます。このように体験活動での学びをその後の生活や学習にいかしていただきたいと思います。



赤穂市立御崎小学校では、当初、常設テント泊を計画されていましたが、しかし、本校のテント泊可能な期間が、5月1日からとなっている関係で実施できませんでした。代わりに、疑似体験と話し合い活動を通した「仲間づくり」を目的として、常設テントでしばらくの時間過ごしました。本来ならば、テントの中で仲間と夜を過ごすことで、仲間との絆を深めたり、自然を一層身近に感じたりすることを学校はねらいとされていたことでしょう。今回は、このような形となってしまいましたが、来年度再度、テント泊を検討していただければと思います。本校では、常設テント泊以外にも一人用テント泊も可能です。一人用テント泊を実施することで、自然を身近に感じることはもちろん、自分自身を見つける、振り返る良い機会を得ることが出来ます。これからテント泊に適した季節となっていきます。これから計画を立てられる学校は、一考の価値があるのではないのでしょうか。

第2週（5月11日～15日）は、姫路市立八幡小学校と姫路市立前之庄小学校でした。

姫路市立八幡小学校では、浮沈子（ふちんし）づくりに取り組みました。これは、入校式の際に、本校の山田校長が子どもたちに自然物を使った遊び道具や科学の不思議について具体例を示しながら紹介したうちのひとつです。前日に飲んだスポーツ飲料のペットボ

トルを利用して作製しました。山田校長は、常日頃から「見たり、聞いたりしたことはすぐに忘れる。実際に自分の手でやってみた体験でないと本物の体験とは言えない。本物の体験は記憶に残る」と言っています。今回の取組は、山田校長の呼びかけに応える形となりました。子どもたちにとって良い思い出のひとつとして心に残ってくれるとうれしいです。

姫路市立前之庄小学校では、野外炊事でオリジナルメニューとしてピザづくりに取り組みました。ピザ生地から作りはじめ、ピザソースを塗り、タマネギやベーコンなどの具材をのせ、最後にチーズをトッピングして下準備が完了です。ピザ釜は、内側にアルミホイルを張り、缶に入れた炭を底に置く手作り段ボールオーブンです。大変上手く焼け、味も大変おいしかったと聞いています。子どもたちも自分だけのピザということで意欲的に取り組んでいたようです。おそらく先生方は、何度も試作を重ねられたことでしょう。オリジナルメニューでの野外炊事は、子どもたちの主体的な活動となり、子どもたちも意欲的に取り組みます。これには事前の準備が大切です。調理方法、必要な食材とその数量、時間配分、必要な器材など、きめ細やかな準備が必要です。そのため先生方の負担は大きくなりますが、子どもたちは達成感や成就感を得ることができるのではないのでしょうか。



自然学校講座参加者募集中！



8月25日（火）から2泊3日で、自然学校の趣旨や指導者の役割を理解するとともに、野外体験活動等の実習を通して、指導者としての資質能力を高めることを目的に「自然学校講座」を実施します。2学期に利用していただく学校の指導補助員（リーダー）を予定している方にお勧めいただきたいと思います。もちろん、先生方の受講も大いに歓迎します。25日（火）は、

ヒノキ伐採体験とそれらを用いたクラフトを計画しています。26日（水）は、自然学校・野外活動におけるリスクマネジメントの講義と演習などがあります。全日程参加を原則としていますが、1日だけの受講も可能です。2学期の準備等で忙しい時とは思いますが、ご参加をお待ちしています。



詳しくは、南但馬自然学校のホームページをご覧ください

編集後記

今回は、第1週と第2週の利用校の活動の一部を紹介しました。今後の計画の参考にさせていただけると幸いです。

（文責 主任指導主事兼指導課長 御栗 康嗣）